

都幾川中学校 第1学年 「英語科」 シラバス

教科の目標

- * 基本的な英語の働きを理解し、簡単な語句や文を用いてコミュニケーションをとることができる。
- * 英語への関心を高め、主体的に学び、コミュニケーションを図ろうとする。

評価の観点・方法

- 【○評価の観点・☆評価方法】
- 知識・技能
- ☆定期テストによる評価
 - ☆単語・基本文テスト
 - ☆音読テスト
 - ☆パフォーマンステスト
 - ☆レポートによる評価
- 思考・判断・表現
- ☆定期テストによる評価
 - ☆パフォーマンステスト
 - ☆レポートによる評価
- 主体的に学習に取り組む態度
- ☆授業中の取り組みや活動・発表の様子
 - ☆提出物や課題等による評価
 - ☆パフォーマンステスト

特色ある学習方法

- 生徒一人一人が積極的、意欲的に取り組むことができるよう、教材の工夫や教具の充実に努める。
- ALTとの会話を積極的に全員が楽しく行えるような場面設定の工夫
- フォニックスなど音を重視した学習指導の工夫
- CDやビデオ、プロジェクター等の視聴覚機器を利用した学習の工夫
- 音読を重視した学習指導の工夫
- 場面に応じた自己表現活動の工夫

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で習った英語表現、アルファベットの名前と音、大文字・小文字 ・ 英和辞典の使い方と構成要素 ・ be 動詞、一般動詞、助動詞 can ・ This is ..., what, who, how ・ where, when, I want to ..., How many ...? ・ 命令文、What +名詞 ...? ・ 1学期の学習事項のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり、書き写したりすることができる。 ・ 英和辞典の見出し語配列について知り、基本的な使い方を理解する。 ・ 自分が普段よくすることや、できることを伝えることができる。 ・ 身近な人や物について紹介したり、尋ねたりすることができる。 ・ いつ・どこなのかを尋ねたり、数を尋ねたりすることができる。 ・ 相手に指示したり、時刻や好きなものを尋ねたりすることができる。 ・ 自分の好きなことについてつながりのある文章を書くことができる。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前置詞、動詞の過去形、動名詞 ・ 三人称単数現在形 ・ Can I ...? Can you ...? ・ which, whose ・ What's wrong? ・ 現在進行形 ・ グリーティングカード ・ 不定詞、look+形容詞 ・ 道案内（道を尋ねる。案内する。） ・ 2学期の学習事項のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行った場所やそこで楽しんだことなどについて話することができる。 ・ 自分と相手以外の人や物などについて、尋ねたり伝えたりすることができる。 ・ 身近な人に許可を求めたり、依頼したりすることができる。 ・ どちらなのか、誰のものなのかを尋ねたりすることができる。 ・ 体調について尋ねたり説明したりすることができる。 ・ 今していることについて説明したり尋ねたりすることができる。 ・ 目的に合わせたカードを書くことができる。 ・ したいことやする必要のあることなどについて説明したり尋ねたりすることができる。 ・ 徒歩での道順を尋ねたり教えたりすることができる。 ・ 好きな有名人などについて尋ねたり説明したりすることができる。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語文 ・ 一般動詞の過去形 ・ 英語での手紙の書き方 ・ be 動詞の過去形、There is[are] ... ・ Would you like ...? ・ 1年間の学習事項のまとめ ・ 物語文 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。 ・ 過去の出来事について説明したり、尋ねたりすることができる。 ・ 旅先からの絵はがきを書くことができる。 ・ 過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。 ・ レストランなどで、注文をしたり質問に答えたりすることができる。 ・ 思い出に残った学校行事について発表することができる。 ・ 物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情等を理解することができる。

都幾川中学校 第2学年 「英語科」 シラバス

教科の目標

- * 基本的な英語の働きを理解し、簡単な語句や文を用いてコミュニケーションをとることができる。
- * 英語への関心を高め、主体的に学び、コミュニケーションを図ろうとする。

評価の観点・方法

- 【○評価の観点・☆評価方法】**
- 知識・技能
- ☆定期テストによる評価
 - ☆単語・基本文テスト
 - ☆音読テスト
 - ☆パフォーマンステスト
 - ☆レポートによる評価
- 思考・判断・表現
- ☆定期テストによる評価
 - ☆パフォーマンステスト
 - ☆レポートによる評価
- 主体的に学習に取り組む態度
- ☆授業中の取り組みや活動・発表のようす
 - ☆提出物や課題等による評価
 - ☆パフォーマンステスト

特色ある学習方法

- 生徒一人一人が楽しみながら、積極的に意欲的に取り組める授業作り
- ALTとの会話を積極的に全員が楽しく行えるような場面設定の工夫
- ペア・グループなど学習形態の工夫
- CDや動画等、視聴覚機器を利用した学習の工夫
- デジタル教科書を活用し、音読を重視した学習指導の工夫
- 場面に応じた自己表現活動の工夫

	学習すること	学習のねらい
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形や過去進行形、There is There are ・be going to や will, SVOO, SVOC ・接続詞 when, if, that, because ・不定詞(副詞的・名詞的・形容詞的用法) It is ...+to ・既習事項の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。 ・休暇や週末の予定について、尋ねたり伝えたりすることができる。 ・好きな食べ物やその理由について紹介文を書くことができる。 ・自分が体験したことや学んだことなどについて尋ねたり伝えたりすることができる。 ・自分に向いていると思う職業とその理由についてグループで話し合い、それをもとに「10年後の自分へのメッセージ」を書くことができる。 ・説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・have to, don't have to, must, must not 動名詞 ・疑問詞+to、主語+動詞+(人)+疑問詞+to ・主語+be 動詞+形容詞+that ・比較表現(比較級、最上級) ・既習事項の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・習慣やマナーについて、尋ねたり伝えたりすることができる。 ・身近なもの(こと)について、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。 ・身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。 ・クラスで人気のあるものをインタビューし、その結果を発表することができる。 ・物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちを込めて音読したりすることができる。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちを込めて音読したりすることができる。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・受け身 ・既習事項の総復習 ・既習事項の総復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地の世界遺産を紹介することができる。 ・自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝えることができる。 ・人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。

都幾川中学校 第3学年 「英語科」 シラバス

教科の目標

- * 基本的な英語の働きを理解し、簡単な語句や文を用いてコミュニケーションをとることができる。
- * 英語への関心を高め、主体的に学び、コミュニケーションを図ろうとする。

評価の観点・方法

【○評価の観点・☆評価方法】

○知識・技能

- ☆定期テストによる評価
- ☆単語・基本文テスト
- ☆音読テスト
- ☆パフォーマンステスト
- ☆レポートによる評価

○思考・判断・表現

- ☆定期テストによる評価
- ☆パフォーマンステスト
- ☆レポートによる評価

○主体的に学習に取り組む態度

- ☆授業中の取り組みや活動・発表のようす
- ☆提出物や課題等による評価
- ☆パフォーマンステスト

特色ある学習方法

○生徒一人一人が楽しみながら、積極的

- ・意欲的に取り組める授業作り

○ALTとの会話を積極的に全員が楽しく行えるような場面設定の工夫

○ペア・グループなど学習形態の工夫

○CDや動画等、視聴覚機器を利用した学習の工夫

○デジタル教科書を活用し、音読を重視した学習指導の工夫

○場面に応じた自己表現活動の工夫

	学習すること	学習のねらい
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・受け身（復習） ・現在完了（経験） ・make + 名詞 + 形容詞の文 ・現在完了（完了） ・現在完了（継続） ・現在完了進行形 ・It is … + for + 人 + to ~ の文 ・want + 人 + to ~ ・let[help] + 人 + 動詞の原形 ・既習事項の復習 ・既習事項の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出文法事項を理解し、積極的な自己表現活動ができる。 ・自分の経験を伝えることができる。 ・何をするとどんな感情になるかを表現できる。 ・すでに終えたことや続けていることについて、聞いたり答えたりできる。 ・新出文法事項を理解し、自分にとって簡単なこと、難しいこと等を表現できる。 ・誰かにしてほしいことについて伝えることができる。 ・これまでの経験を振り返って、学校生活の活動報告を発表することができる。 ・物語を読み、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちを込めて音読することができる。
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問文 ・SVOO（what 節） ・後置修飾（現在分詞、過去分詞） ・後置修飾（接触節） ・関係代名詞（who, that, which）の主格、目的格 ・関係代名詞（that）の目的格 ・既習事項の復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・標識が何を意味しているかを説明することができる。 ・人物やものについてくわしい情報を加えて説明することができる。 ・日本や郷土の文化などを紹介する文を詳しい情報を加えながら書くことができる。 ・日本や郷土の文化などを紹介する文を、詳しい情報を加えながら書くことができる。
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法 ・ディベート ・既習事項の復習 ・課題英作文 ・3年間のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。 ・身近なテーマについて、主張とその理由を明確にしなが、ディベートをすることができる。 ・長い説明文を読み、その概要や要点を読み取ることができる。 ・自分の考えや思い、意見を理由と共に英語で書くことができる。 ・既習の単語や基本文、表現の復習